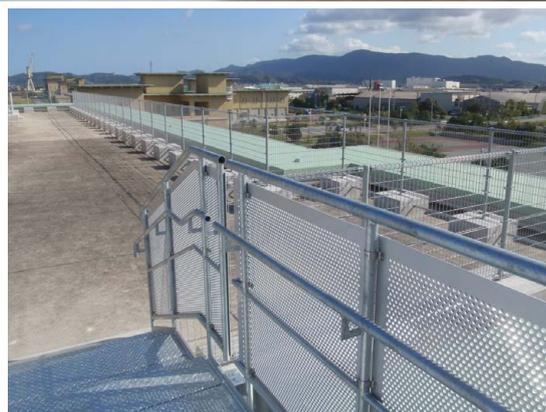


# 防災・減災対策を進める

津波避難階段（宮川浄化センター管理棟）



## 《工事概要》

避難階段 S造 建築面積32.45㎡ 高さ13.9m

## 《整備内容》

- ・既設管理本館屋上へ屋外避難階段を増築した。  
（想定浸水高さ 4.13m）
- ・構造設計において、建物用途を考慮し、重要度係数1.25を設定した。
- ・既設管理本館屋上へ転落防止措置をした。

## 防災・減災対策を進める

三重県津庁舎電気棟



## 《工事概要》

電気棟 鉄骨造 2階建  
延べ面積 350.85㎡（新築）

## 《整備内容》

- ・津波対策として、津波浸水高さ（想定1.0m～2.0m）以上の2階部分に電気室を設け、受変電設備と非常用発電設備を新設した。
- ・構造設計において、建物用途を考慮し、重要度係数1.25を設定した。
- ・1階はピロティ形式の駐車場にするとともに、同階のポンプ室は津波の際に水の侵入を防げるようRC壁とし、扉は水密扉とした。また、燃料移送ポンプは浸水対策型を採用した。

三重県

公共建築Web展示

～社会的要請に応える“とりくみ”と“しごと”～

## 防災・減災対策を進める

三重県松阪庁舎電気棟



### 《工事概要》

電気棟 鉄骨造 2階建  
延べ面積 336.26㎡（新築）

### 《整備内容》

- ・津波対策として、津波浸水高さ（想定1.0m）以上の2階部分に電気室を設け、受変電設備と非常用発電設備を新設した。
- ・構造設計において、建物用途を考慮し、重要度係数1.25を設定した。
- ・1階はピロティ形式の駐車場にするとともに、同階のポンプ室は津波の際に水の侵入を防げるようRC壁とし、扉は水密扉とした。また、燃料移送ポンプは浸水対策型を採用した。